

令和5年度

「市長が訪問します

「市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和6年2月27日（火）
11時20分～13時
2. 開催場所 東山中学校
3. 参加者 東山中学校2年生95名



【テーマ】 東山中校区の未来に向けて

～「郷土の未来を語る会」での話し合いから～

・次の2点について生徒が意見発表し、市長の感想を聞いたり意見交換を行ったりした。

- ①「郷土の未来を語る会」において、地域の方々と語り合った各町内の困りごとや今後解決したいことについて実践発表
- ②社会科「地球社会と私たち」の学習まとめ発表

■「郷土の未来を語る会」における実践発表

＜松之木町＞地域内の関わりを活性化させよう

- ・活性化した地域とは、イベントや交流が多い、ゴミが落ちていない、施設が充実していること
- ・地域の現状は、明るく元気がある、街灯が少なく夜暗い、高齢者が多い
- ・地域で自分たちができることは、ゴミ拾い、町内の行事に参加する、地域の人と挨拶を交わすこと

＜東栄町＞大人も子供も住みやすい町内とは？～関わり方・環境～

- ・住みやすい町内とは、地域の関りが深く近所の人との交流があること、町内の掃除がされていること
- ・住みやすい町内にするために必要なのは、思いやりの心、街灯などの整備とゴミの分別
- ・地域で自分たちができることは、あいさつや募金活動、行政の力を借りること

＜桜町・八幡町＞文化を継承し、より活気づけるためにはどうしたらよいか？

- ・地域の良いところは、長い歴史があり観光客が多く、自然が多いこと。課題点は、地域の歴史を知らない人がいる、子どもが少ない、観光客のマナー
- ・課題解決のためには、地域の歴史を体験したり観光客向けにPRしたりする、地域に観光案内所をつくる
- ・地域で自分たちができることは、伝統を知り・伝える、挨拶をする、ボランティアに参加する

■社会科「地球社会と私たち」の学習まとめ発表

＜A組 人口と産業の関係性＞

- ・人口が増えると産業が活発になり、観光業や農業で知名度がアップし、さらに人口が増えることにつながる
 - ・高山の知名度を上げるための提案
 - ①野菜大運動会を市内で開催し、高山の野菜の魅力を知ってもらう
 - ②飛騨の家具ポップアップストアを東京で開催
- その他、採れたて野菜を使ったレストランや冬期間に農家が働ける場所をつくる、山を使ったサバイバルゲームの開催など

<B組 高山市の伝統・祭りについて>

- ・担い手が減少すると、知名度がダウンし観光客が減る、伝統がなくなるなどの影響がある
- ・高山の伝統を引き継いでもらうための楽しく学べる場として、観光客や子どもを対象にしたスタンプラリーを提案。高山の名所や特産品をめぐり、高山の特産品を景品にする。市からも景品を提供してもらえよう願う。

<C組 育児について>

- ・育児に影響するものとして費用・支援・施設があり、それぞれどんな影響があるのか、それに対する提案をする
- ・費用面の影響として、市に入る税金が減ると支援金がもらえない（1世帯4万円の給付金は少ない）、育児へのお金が足りないと必要なものが買えない、親の共働きでヤングケアラーが増え充実した育児ができなくなるということがあ。提案として、市内中学校に配られるタブレット用ペンシルを今より安いものにして、ういたお金を出産祝い金に使う。
- ・支援面の影響として、ぎふっこカードの使い道が少ない、託児所の料金が安いということがある。提案としてぎふっこカードをもっと多くのお店で使えるようにして割引をもっとお得にする、託児サービス料金を1時間500円から300円に安くする。
- ・施設面では、楽に行けるオムツ替えの場所がないため、公園のトイレにオムツ替えの場所をつくることを提案する。

■市長から感想等

- ・どの発表もよく調べて、よく考えてあり驚いた。
- ・「郷土の未来を語る会」の発表を聞き、地域の方と交流することの大切さを体感していると感じた。それぞれの地域の課題をしっかりと捉えている。
- ・課題に気づき、解決しようとする気持ちが大事。自分たちで考え、できることから行動しようとする姿勢が素晴らしい。
- ・社会科の発表では、まさに高山市の課題を取り上げていて、具体的な提案にも驚いた。提案が具体的に実現しそうな時は、市もぜひ一緒に取り組みたい。
- ・育児はニーズと現状に差があると感じている。来年度は「こども未来部」を設置して、さらに住む人にとって育児しやすい環境を整えていきたい。